

令和5年7月18日

データサイエンス・オンライン講座 「社会人のためのデータサイエンス演習」の受講者募集開始

総務省は、統計リテラシー向上の取組として、“データサイエンス”力の高い人材育成のため、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を令和5年10月3日（火）から開講することとし、本日から受講者の募集を開始します。

本講座は、社会人・大学生を対象とした、実践的なデータ分析の手法を学習することができる講座です。是非御活用ください。

- データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」の受講者の募集を本日から開始します。
- 本講座は、平成28年4月に開講し、これまで延べ約7万6千人に受講していただきました。
行政やビジネスでの活用を想定した講座として、社会人や大学生に向けて、業務やビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析（統計分析）の手法を分かりやすく解説します。
- 講座の開講期間は、令和5年10月3日（火）～12月12日（火）の予定です。
本講座紹介用ウェブサイト（<https://gacco.org/stat-japan2/>）において、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御活用ください。
※ 本講座は、令和4年10月に一部内容をリニューアルし実施した講座を再び開講するものです。
※ 受講登録は、令和5年12月4日（月）までの予定です。

（別紙）

データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要

（連絡先）

統計局統計情報利用推進課

担当：和田課長補佐 石田係長 栗山主査

電話：03-5273-1023（直通）

E-mail: y-senryaku_atmark_soumu.go.jp

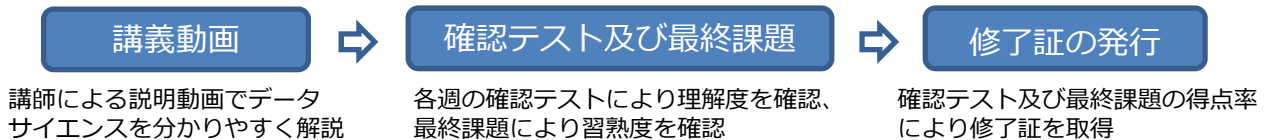
（スパムメール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。メールを送る際に「_atmark_」を「@」に直して入力してください。）

- 講座の目的：ビジネス上での分析事例を中心に
実践的なデータ分析（統計分析）の手法を習得する
- 開講期間：令和5年10月3日（火）～12月12日（火）予定
- 学習時間：1回10分程度×5～7回程度（1週間）×5週
これとは別に補講・演習を実施（10分程度×11回）
- 課題：各週の確認テストと最終課題の実施
- 講師：データサイエンスに携わる専門家、大学教授



週	各週のテーマ	内容
1	データサイエンスとは	データサイエンスが必要とされる背景やデータ分析に基づく問題解決プロセスを紹介
2	分析の概念と事例	記述統計によるデータの把握と比較方法について学習
3	分析の具体的手法	相関関係等の2変数の関係や時系列データの解釈について学習
4	ビジネスにおける予測と分析結果の報告	回帰分析による予測や分析結果の報告と解釈について学習
5	ビジネスでデータサイエンスを実現するために	ビジネスでデータサイエンスを実現するためのポイントについて解説
	補講・演習	Excelや統計解析ソフトRを使って実際に演習も行います

▶ 講座の流れ



▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

<p>「社会人のためのデータサイエンス入門」</p> <p>(講座の特徴) データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座</p> <p>(開講時期) 初回開講：平成27年3月 直近の開講：令和5年6月 開講回数：18回 ※特別開講含む</p> <p>(学習時間) 1回10分程度×6～9回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実績) 社会人を中心に延べ約168,000人が受講</p>	<p>「社会人のためのデータサイエンス演習」</p> <p>(講座の特徴) 「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ</p> <p>(開講時期) 初回開講：平成28年4月 直近の開講：令和4年10月 開講回数：10回 ※特別開講含む</p> <p>(学習時間) 1回10分程度×5～7回程度 (1週間)×5週</p> <p>(実績) 社会人を中心に延べ約76,000人が受講</p>	<p>「誰でも使える統計オープンデータ」</p> <p>(講座の特徴) 公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ</p> <p>(開講時期) 初回開講：平成29年6月 直近の開講：令和5年5月 開講回数：10回 ※特別開講含む</p> <p>(学習時間) 1回10分程度×5～7回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実績) 社会人を中心に延べ約43,000人が受講</p>
---	---	--

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座